



太田幸夫の 絵文字デザイン展

2012年7月21日[土] → 9月2日[日]

- 休館日: 毎週月曜日 (7月23日、30日・8月6日、13日、20日、27日)
- 開館時間: 9:00—17:00 [入館は16:30まで] ただし8月19日[日]は催しもの開催のため19:30まで開館
- 会場: 美術館1F展示室(第1、特別展示室) ●主催: 刈谷市美術館 ●後援: 愛知県教育委員会

刈谷市美術館
KARIYA CITY ART MUSEUM

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
TEL 0566-23-1636 FAX 0566-26-0511
<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>



入場
無料

駅や店で見かける非常口やトイレ、エレベータのマークなど、私たちはさまざまな絵文字に囲まれて暮らしています。こうした絵文字は「ピクトグラム」と呼ばれ、言語や年齢、文化などのちがいを超えて、より多くの人々が直感的にその意味を理解できるようにデザインされています。情報やモノがあふれ、環境が複雑化する現代社会には欠かせない図記号(グラフィックシンボル)の典型で、施設の案内に使われるほか、携帯電話や自動車の操作、禁止や危険を知らせる標識など、製品から建物、街づくりにいたるまで幅広く活用されています。

この展覧会では、「非常口」の絵文字で知られるグラフィックデザイナー・太田幸夫(1939年刈谷市生まれ)が実践するビジュアル・コミュニケーション・デザインの仕事を、さまざまな絵文字のパネルや制作過程を示す資料、写真、映像、製品、書籍などで紹介します。加えて、太田幸夫が委員長として国家規格の原案を作成した蓄光式の避難誘導システムを真っ暗な部屋で体験できるコーナーなど、驚きや発見のある展示も用意します。

だれもが安全に安心して豊かに暮らせる生活環境について、「いのちを守る絵文字」「目で見ることば」「景観と絵文字」「シンボルマーク」など、デザインの役割と可能性からあらためて見つめなおす機会となれば幸いです。



非常口(国際規格)



身を守る



地震



津波注意



貸スキー



契約者専用駐車場



「国際相互依存状況の視覚化」より



「経済産業省」シンボルマーク



「女性に対する暴力根絶」シンボルマーク



広場



トイレ



「目黒川」名所旧蹟サイン



「手を洗いましょう」エチケット・サイン



「昆虫」標本台サイン



「日本の歴史」書架サイン

太田幸夫(おおた・ゆきお)

1939年愛知県刈谷市生まれ。1962年多摩美術大学卒業。同大学美術研究所およびイタリア国立美術学院修了。1964-66年イタリア留学中に視覚言語「LoCoS」を研究開発。東京造形大学助教授、ピクトリアル研究所などを経て、2010年まで多摩美術大学教授。経済産業省シンボルマークとCIデザイン、アメリカ国立シンクタンクEWCの国際プロジェクトや国連大学の世界最先端コンピュータアニメーションデザイン、つくばセンタービル、代官山ヒルサイドテラスなどのサイン・コミュニケーションデザイン、総務省消防庁「非常口」「広域避難場所」表示ピクトグラム、中央労働災害防止協会「安全標識」など、数々の公的なサイン・シンボルデザインを手がける。1980年から国際標準化機構(ISO)国内委員として国際・国家規格化に協力。標準化功労者として経済産業大臣賞ほか受賞多数。日本デザイン学会評議員、日本サイン学会前会長・理事、NPO法人サインセンター理事長、太田幸夫デザインアソシエーツ代表。

太田幸夫の 絵文字デザイン展

世界中で使われるあの「非常口」のピクトグラムから、
絵ことば、シンボルマークのデザインまで。
絵文字の第一人者・太田幸夫のデザインがいっぱい!

刈谷市美術館
KARIYA CITY ART MUSEUM

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
TEL 0566-23-1636 FAX 0566-26-0511
http://www.city.kariya.lg.jp/museum/
e-mail: bijiyutsu@city.kariya.lg.jp

開催中のイベント

「避難誘導サイン・トータルシステム」 開発調査をおこないます!

最新の避難誘導サインの効果を体験する実験を昼夜おこないます。より良いサインの開発に向けたアンケート調査にご協力ください。

(NPO法人サインセンターRGSS作業部会共催)

8月19日[日]

調査①(昼間)16:00→16:45頃

調査②(夜間)18:45→19:30頃

会場:美術館から刈谷市立住吉小学校

雨天実行/申込不要/参加無料

*美術館1Fロビーにお集りください。



広域避難場所(国家規格)

講演会

「知りたい意思と知らせたい意思の出会い」

絵文字の歴史やはたらき、
デザインについてお話しします。

8月19日[日]

17:00→18:30

*閉館時間を延長します

講師:太田幸夫(NPO法人サインセンター理事長)

会場:美術館2F研修室

定員:80名(先着順) 申込不要/聴講無料



私が太田です

暗やみで光る!?

オリジナル絵文字をつくろう

ふしぎな絵具やプレートなどを使って、学校や家など
毎日の生活に役立つ絵文字を作ってみよう。暗やみで
光らせてみんなに伝われば大成功!完成した絵文字は
美術館のかべに飾ります。

8月4日[土]

11:00→16:00

会場:美術館2F研修室

対象:どなたでも

申込不要/参加無料

時間中いつでも参加できます

*材料がなくなり次第、終了



視覚言語「LoCoS」/喜び/楽しみ

ギャラリー・トーク

展覧会担当者による作品解説ツアーです。

7月22日[日]

8月4日[土]、8月25日[土]

13:30から40分程度/申込不要/参加無料

*美術館1Fロビーにお集りください。



[交通案内]

電車: JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、

南口から徒歩約10分

*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から

快速で約15分

お車: 名古屋方面より=国道23号線

(知立バイパス)「一ツ木IC」から約5km

*無料駐車場あり(60台)

